

- ✓ 当社では、発電所の重大事故対策要員の対応能力向上を図るため、所員、協力会社要員の役割に応じた教育、訓練を充実・強化しています。
- ✓ 「運転員の能力向上」の観点では、事故時の対応能力を高めるため、シビアアクシデント時のプラント挙動を再現できるMAAPコード※を用いて、運転員の緊急時対応能力の向上を図っています。

※MAAP（Modular Accident Analysis Program）。米国電力研究所（EPRI）が所有するシビアアクシデントの挙動を模擬できる総合解析コード。

【教育訓練の内容】

・知識面の向上に向けた教育

シビアアクシデント時のプラント挙動に関する、動画教材を併用した教育など

・技能面の向上に向けた対応訓練

大型表示パネルを備えたシミュレータを用いた対応訓練など

【訓練により向上を図る主な知識・技能】

- | | |
|-------------------|-------------|
| ○炉心損傷判断 | ○炉心損傷後の対応操作 |
| ○対応操作実施によるパラメータ挙動 | ○対応操作の効果検証 |

【実績】

全ての発電所の当直員が、株式会社原子力発電訓練センター(NTC)において、シビアアクシデント訓練強化コースを受講
(2024年2月～2024年12月末：268名)



シミュレータを用いた訓練の様子